

### 新年のご挨拶



東京労働者福祉協議会

会長 遠藤 幸男

東京労福協に加盟する各団体の皆さま、新年明けましておめでとーございます。

年頭にあたり、東京労福協活動に対する日頃のご参加・ご協力に心より感謝申し上げます。

昨年、国内外政権の変化、米国発世界同時金融・経済危機の発生、年金

偽装・後期高齢者医療制度強行、介護制度の危機、産科・小児科を中心とする医療問題、食の安全、株価の半減と円高、日比谷公園での「年越し派遣村」に象徴される派遣切り・内定取り消し問題をはじめとする深刻な雇用問題など、国の存在に関わる問題が集中的に現れた年となりました。

そのような中、東京労福協は、加盟各団体の皆さまとの協力・連携を強化し、一昨年の貸金業法改正を背景に割取法改正の取り組みでも大きな成果をあげ

るなど、社会の底辺で進行する許せない事態に対峙してきました。現在の日本社会の現状は、国そのものの方針を根本から改めなければあらゆる深刻な状況を克服できないと、ころまできています。

国や地方自治体、経営者など社会を構成するあらゆる団体、個人が、国民・労働者・生活者に目線をおき、雇用・年金・医療・介護・生活保護・子育てなどの基本的なインフラを抜本的に変革し、「公正と連帯・希望の持てる社会」へと大きく舵を切っていかなければならないということではないでしょうか。当然のことながら国民的運動を推し進めるためにも、民主党を中心とした政権交代への実現や、首都東京の都議選で民主党を勝利させることが不可欠であります。

東京労福協は、今年も個別課題としては生活保護問題に焦点を当てながらも、この国を変える様々な活動に全力を傾けていく決意をし、加盟各団体の益々のご発展を祈念し新年のご挨拶とします。



労働者福祉中央協議会

会長 菅森 清

新年明けましておめでとーございます。世界的な金融危機、格差と貧困の広がりの中で、マネーゲーム化した資本主義は破綻し、市場万能の新自由主義は終焉を迎えつつあります。今こそ、労働運動と労働者福祉運動の力で地域社会の連帯の絆を再生させ、「協同」が輝きを増す社会を創り出していく時です。

中央労福協は創立60周年を迎えるにあたり、確信をもってこれからの10年へと運動を進めていけるような理念とビジョンを創り上げていきます。

同質の協力は和(足し算)にしかなり

ませんが、異質の協力は積(掛け算)と成り、測り知れないパワーを発揮します。貧困の解消と生活の底上げに向けて、国民的な運動の大きなうねりで、政治と社会を変えようではありませんか！

協同事業の社会的価値や力量を高め、地域に根ざした顔の見える活動の前進に向けて、労働者福祉のネットワークを最大限に活かしていくことが必要です。時代を動かす「物語」をみんなで作って出し、希望の扉を開く1年にしましょう！



## 東京労福協に

ご協力頂いた皆様からも  
新年のメッセー지가届きました。  
ご紹介致しますと共に、  
皆様への応援メッセーじも  
お待ちしております。

平成二十一年明けましておめでとうございます。

青森大学教授として若者と向かい合って十四年を迎えました。

また、全国農業会議初の女性学識会員になりました。

これからも次世代の地球のために、食料、安全、安心の確立に力を  
尽くしてまいります。

夏には若者たちへエールを送る新書を出版いたします。お楽しみに。



青森大学教授・エッセイスト  
見城美枝子



認定NPO法人  
スペシャルオリンピックス日本 名誉会長  
認定NPO法人世界の子どもに  
ワクチンを日本委員会 理事長

細川佳代子

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本  
<http://www.son.or.jp/>

認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会  
<http://www.jcv-jp.org/>

新年おめでとうございます。

2015年までに障がい者が当り前に地域で暮らしてい  
ける共生社会の実現に向けて努力を続けています。

途上国にワクチンを贈る活動でもエコキャップ運動が広が  
り、知恵と工夫次第で社会は大きく変ると信じています。  
本年もよろしくお願い申し上げます。

新しい年が始まるたびに、

実現待ちの『夢』の数々をカルタのように並べてみます。

待っているだけでは出会いは来ないから、

自分から動きださなくちゃ・と、

ドキドキわくわく。  
音楽で多くの人の夢を奏でたいですね。



歌手・NPO法人困境なき楽団代表

庄野真代

webあとろえ  
<http://park16.wakwak.com/~mayo/>

あけましておめでとうございます。

元旦の新聞でも日本のみなさまにお知らせしたことを

再度、東京労福協のみなさまにもお知らせしたく存じます。

昨年後半以降世界を襲ったリーマンショックに端を発する世

界経済全体の急速な変動は、アメリカ型金融主導資本主義に  
決定的な疑問を投げかけました。(中略)

政治の最終目標は人に優しい経済社会を作ることです。

それが今回アメリカ的価値観の崩壊からわれわれが学んだ

教訓です。

久々にみんなで新しい挑戦を始めようではありませんか。

毎日新聞社常務取締役主筆

菊池哲郎

菊池さんからのメッセージは、以下でご覧いただけます。  
<http://mainichi.jp/select/biz/subprime/news/20090102k0000e070014000c.html>

新年あけましておめでとうございます。

米国の金融不安が引き起こした不況は、政府の景気対策が遅  
れ、そのしわ寄せはより弱い者へと厳しく迫っています。働く者  
が手をつなぐことがますます重要で、笹森清会長をはじめとす  
る皆さん方の、反貧困、生活底上げの活動に大いに期待し、注  
目してゆきたいと思えます。

ジャーナリスト・日本BS放送取締役

二木啓孝

日本BS放送(BS11)  
<http://www.bs11.jp/>

2008年10月21日

## BS11報道番組“IN side OUT” 中央労福協笹森清会長生出演



テーマは、格差社会・貧困・ワーキングプア。

7月にスタートした反貧困キャラバンの報告や、  
実情をうったえ、「社会の不条理に対して共感の  
得られる運動を展開すれば、政治を動かし社会  
を変えることができる。労働運動と消費者・市  
民運動が垣根を越えてつながり、貧困の解消と  
生活の底上げに向けた世直し運動の大きなうね  
りをつくっていききたい」と反貧困との戦いを笹森  
会長が1時間近くにわたり熱弁。

(聞き手：ジャーナリスト・二木啓孝)



## ドイツ労働経済情勢視察団

東京国際労働事情研究会平成20年度事業のドイツ労働経済情勢視察が12月9日～15日に実施されました。化学関係の経営団体HESSENやチュッセルドルフ商工会議所、ジエトロなどを訪問し、ドイツにおける労使関係、雇用法、賃金契約の履行、同時不況への対応など意見交換、有意義な交流ができました。ドイツはクリスマスシーズンでもあり主要都市はもとより多くの街でクリスマスマーケットが開かれており、車窓から見てもこの地域だけは同時不況の深刻さがうそのような風景もみることができました。詳細内容については報告書を参照ください。



## 2008年12月8日 東京労福協第46回定期総会報告



開会挨拶 田原副会長  
議長 連合東京・水谷企画局長

来賓挨拶 東京都産業労働局・板谷課長  
中央労福協・高橋事務局長

### 遠藤会長 挨拶

割賦販売法改正や多重債務問題対応などで多くの団体と連携し運動を広げたことで成果を上げてきた。引き続き格差社会や貧困問題、勤労者の福祉向上に労福協の立場を活用し課題解決への取り組みを強化する。

### 大森事務局長

●成果・引き継ぎ課題報告  
多重債務の生活再生事業、割賦法改正への取り組み、福祉リーダー熟卒業者のフォローアップ研修など

### ●方針

格差社会による貧困問題対応、後期高齢者医療制度撤廃に向けた取り組み労福協運動の社会認知。

### 小川副会長閉会挨拶

運動前進に総力結集し、厳しさを乗り越えよう。

## 2009年度東京労福協役職員名簿

役職名	氏名	所属団体名
会長	遠藤 幸男	連合東京
副会長	小川 英一	中央労働金庫東京都本部
	田原 憲次郎	全労済東京都本部
	名和 三次保	東京都生活協同組合連合会
事務局次長	大森 栄司	連合東京
事務局次長	加藤 貢	連合東京
事務局次長代理	荻野 里美	全労済東京都本部
幹事	川本 晃義	連合東京
	小俣 要	都労連
	福島 良和	印刷関連
	野口 三男	中央労働金庫東京都本部
	山口 篤史	全労済東京都本部
	林 和孝	東京都生活協同組合連合会
	南波 正仁	勤東京労働者福祉厚生協会
	佐藤 欣弥	東京住宅供給センター
	佐々木 香三	世東京労働者共同保証協会
	峰崎 久雄	勤労者サービスセンター
	高田 一雄	勤東京労働者福祉基金協会
	永見 和彦	日野市労福協
	糸賀 正	東京高退連
会計監査	吉川 聡子	中央労働金庫東京都本部
	松本 三喜男	全労済東京都本部
顧問	天井 修	東京労働者福祉協議会
事務局	浜野 光子	職員



—日比谷「派遣村」緊急支援活動—

労福協加盟団体の連合東京は12月11日、12日緊急雇用相談ダイヤルを実施しました。相談件数が86件にもものほり、4割強が派遣など非正規労働者の中途解約や雇い止め。「まだまだ働くつもりが、蓄えもなく年末年始が不安」相談者の声も厳しい現実を表しています。12月30日～1月4日にも日比谷



の「派遣村」に緊急支援の活動を実施しました。セーフティーネットの構築、経営団体への要請など引き続き取り組まれます。

—東京都生活再生事業開始のお知らせ—

東京労福協などを始めとした団体運動により、東京都は、多重債務で生活困難な状況にある方のうち、融資を受けての自力再生を希望し、かつ返済が可能と判断される方に対して、生活相談を実施の上で資金を貸し付け、生活の再生を支援する事業を開始しました。

- 【受付開始】 平成20年3月27日(木)  
午前9時30分から
- 【申込先】 有限責任中間法人  
生活サポート基金(中央区銀座4-14-11)  
電話 03-5565-1190
- 【受付時間】 月曜日から金曜日までの  
午前9時30分から午後6時まで

—労金緊急融資のお知らせ—

全国労働金庫協会(千代田区・理事長 岡田康彦)の会員である全国13の労働金庫(ろうきん)は、2008年12月22日(月)より、「就職安定資金融資」の取り扱いを開始しました。本融資は、「解雇や雇用期間満了による雇い止め等による離職者で、それまで入居していた社員寮等からの退去を余儀なくされる方々に対して、住居入居初期費用などの必要な資金をご融資することにより、これらの方々の住居と安定的な就労機会が円滑に確保できるよう支援する」ことを目的とし、厚生労働省からの要請を受け、取り扱いに至ったものです。

全国労働金庫協会 広報渉外部 担当:白井(シライ)  
電話番号:03-3295-0718

—多重債務と思われる方をみかけたら…—



借金を返すために借金をする・・・多重債務におちいるもっとも多いパターンです。

身の回りに、もしも?と思われる方をみかけたら、「解決できない借金はない」「どんなに多額の借金をかかえていても、必ず解決できる」と、さりげなく伝えてください。

多重債務者の弱みにつけこむヤミ金融の手口は、ますます巧妙になっています。決して誘いに乗ってはいけません。まずは相談窓口へ!

この件に関するお問合せ先  
全国労働金庫協会 営業推進部 03-3295-0718

編集後記

暗い話題、先行き不安で年が明けた。根拠なき自信でもよい楽観的に対峙すべきとの説もある。映画「三丁目の夕日」「キューボラのある町」背景に、ぬくもりある暖かい家庭、支え合う地域、夢もあった。せめて心だけでも取り戻したい。09年人と人との支え合い労福協運動の原点を大事にしたい。 東京労福協 事務局長 大森 栄司

いろいろな暮らしがあります。その暮らしの数だけ、もっと、それ以上の、「夢」があります。そんなみなさんの夢をひとつずつ、ひとつずつ、「カタチ」にしていくお手伝い。そんなみなさんの夢を応援していく、働く人のための金融機関です。



はたらくあなたにうれしいバンク

中央ろうきん



がんばる人の預金だから、  
手加減はいらないので、  
応援します。

ZENROSAL NEWS

お子さまからシニアの方まで。一人ひとりに最適な保障をご用意しました。



LL  
こくみん共済

保障のことなら  
全労済 東京都本部